

食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

その他—その他

92	オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、「FSANZ と国際的な食品安全機関との関わり」
公表日:2013年6月25日 情報源:豪州・NZ 食品基準機関(FSANZ)	
http://www.foodstandards.gov.au/science/international/Pages/default.aspx	
<p>オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)は5月、「FSANZと国際的な食品安全機関との関わり」についての情報を公表した。概要は以下のとおり。</p> <p>食料供給が拡大し、より国際的になると食品の安全性の確保に関わる国際機関と協力することは、ますます重要である。FSANZは、データの収集及び分析方法を開発するために多くの国際・科学的な規制機関と協力している。詳細はFSANZの国際的な活動及び報告書から知ることができる(以下のURLに掲載)。</p> <p>http://www.foodstandards.gov.au/publications/Pages/International-activities-and-engagement.aspx</p> <p>世界の食品関連リスクは様々であることは認識されているが、食品に関する科学的な規制に関連した情報、データ及びベストプラクティスを共有することにより一貫したリスク分析の取組を進展させることができる。多くのFSANZスタッフは、主要な食品関連国際機関の専門組織への参加を含む、国際的な活動に従事しており、そのことにより世界中の科学者との連携をさらに深めている。</p> <p>(1)アジア太平洋経済協力閣僚会議(APEC)食品安全協力フォーラム</p> <p>APEC食品安全協力フォーラムは、アジア太平洋地域における強固な食品安全システムの構築のための食品安全規制当局のフォーラムである。FSANZ及び中国が共同で議長を務めている。</p> <p>(2)コーデックス</p> <p>コーデックス委員会は、食品、食料生産及び食品の安全性に関連する国際的に認められた基準、実施規範、ガイドライン並びに勧告を策定している。消費者の健康を保護し、国際的な食品貿易の公正な慣行を確保することを目指している。FSANZは、様々なコーデックス部会に参加している。</p> <p>(3)世界保健機関(WHO)及び国際連合食糧農業機関(FAO)</p> <p>FSANZは、多くの会議や専門家会議に参加することによってWHO及びFAOの作業を支援している。例えば、FAO / WHO合同食品添加物専門家会議(JECFA)、FAO / WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR)及びFAO / WHO合同微生物学的リスク評価専門家会議(JEMRA)などである。</p> <p>FSANZはまた、食品汚染モニタリングのためのWHOの協力センターの1つでもある。FSANZは、WHOの以下のようなプログラムを支援するための合意した活動リストを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品中の汚染物質の健康影響に関する専門家の助言を提供。 ・WHO地球環境モニタリングシステム/食品汚染モニタリングと評価プログラム(GEMS /Food)に参加。 ・WHOの要請に基づき、西太平洋の地域及び国々における食品汚染モニタリング及び評価能力の強化のための支援を提供。 ・要請に基づき、可能な限り食品安全に係る緊急時における支援の提供。 <p>(4)他のネットワーク</p> <p>FSANZは化学物質の安全性に関するリエゾングループ、食品中の微生物の安全性に関するリエゾングループ及び4カ国食品安全グループ(Food Safety Quadrilateral Group) (訳注:豪州、カナダ、ニュージーランド及び米国)などの確立されたネットワークを介し、(日本を始めとする)他国のリスク評価又は規制当局と連携している。</p>	
○関連情報	
<p>2010年7月、食品安全委員会(FSCJ)とFSANZはリスク評価に関するデータ収集及びデータ共有の協力を促進するための協力文書(Memorandum of Cooperation)を締結。</p> <p>http://www.fsc.go.jp/osirase/co_australia_newzealand.html</p> <p>2013年7月2日に第一回定期会合(非公開)を開催。(なお、7月3日のFSCJ主催の国際共同シンポジウムでFSANZ長官が国際協力を含んだ内容について講演。)</p> <p>国際共同シンポジウム概要、FSANZ長官講演要旨等</p> <p>http://www.fsc.go.jp/fscjis/meetingMaterial/show/kai20130703ik1</p>	